



可能性の花を咲かせて

早々から台風の影響で臨時休業日があった2学期ですが、9月も下旬を迎え、子どもたちの活動も活発になってきました。来月14日の運動会に向けて、各学年とも体育の時間の活動にも熱が入っています。表現運動の練習の様子を見ておりますと、初めは先生の動きに合わせてぎこちなく動いていた子どもたちが、流れもよく楽しそうに動けるようになってきました。子どもの上達の手は、私たち大人よりはるかに速いなど、改めて感じているところ
です。運動会本番の子どもたちの姿が、今からとても楽しみです。



さて、私たちはよくこの「可能性」という言葉を出します。「人間には無限の可能性がある」「可能性に挑戦しよう」などなど。人間ほど変化していく動物はないと思います。子どもたちはもちろん、私たちにも、自分の目標や夢が実現できる可能性があります。しかしながら、逆の意味、つまりよくない方向へ落ちていく可能性もあります。よくも悪くも私たちは可能性を秘めております。可能性があるから、何もしなくてもそのうち何とかなるさ、と思って過ごしていたら、気がつけばもう遅かったということもあります。私たち人間は、自分の目標や夢に向かって一生懸命努力を続けることで、初めて可能性の花を咲かせることができると思います。

全国には日本一と呼ばれる小学生がいます。学習、スポーツ、科学、様々な分野でこんな小学生がいます。生来の才能もあるかもしれませんが、でも、同じ小学生、努力を積んだらできるかもしれません。とても強い思い、信念があれば、本当に現実のこととなるかもしれません。可能性は計り知れません。子どもたちには、「絶対にやってやる」という気持ちを持つこと、今しなければならぬことを一生懸命やることを、大事にしてほしい。将来の力を蓄える時です。努力してこそ可能性の花が開くと思います。

運動会は、全校児童が一所に集って力を発揮する、年間を通じ最大の行事です。全員が勝った負けただけでなく、自分自身の目標に向かって精一杯やったことに満足できるような、そんな運動会にしたいものです。一つの行事を通して、子どもたちが成長を実感できるよう、そして、成就感、達成感といった手ごたえを感じられるよう、可能性の花を咲かせるための取組みを進めていきます。保護者の皆様、どうか子どもたちへ励ましの言葉かけをよろしくお願いいたします。



自分たちの晴れの舞台づくり

9月13日(木)に大地震を想定した避難訓練を行いました。自分の命をしっかり守るための訓練。全体的に静かに落ち着いて行動して、真剣な姿が印象的でした。

その訓練のあと、全員で運動場に生えた草をとりました。みんな一生懸命動いていました。中には、土がついてすごく重いのに、袋に集めた草を運んでくれた児童もいました。みんなで、自分たちの晴れの舞台となる運動場をきれいにしました。運動会の主役は子どもたち。その準備も自分たちで進めていくことが、きっとその主役という思いを強くしていくことと思います。